

平成22年度 第1回

山梨県考古博物館協議会資料

(次 第)

1 開 会

2 会長あいさつ

3 議 事

- (1) 平成22年度 考古博物館経過事業について
- (2) 平成22年度 考古博物館予定事業について
- (3) 平成23年度 第29回特別展について
- (4) その他

4 その他

5 閉 会

平成22年11月5日(金)

山梨県立考古博物館
風土記の丘研修センター

資料目次

◇ 平成22年度 考古博物館経過事業について	
1 展示活動	1
(1) 第28回特別展	
(2) 企画展	
2 学習会、講座など	2
(1) 講演会	
(2) 史跡文化財セミナー	
(3) 考古学講座	
(4) チャレンジ博物館	
(5) ものづくり教室～原始古代の技に学ぶ～	
(6) 縄文土器づくり教室	
(7) 原始・古代の技術体験学習	
3 イベント	3
(1) 第22回風土記の丘こどもまつり	
(2) 特別展関連イベント	
(3) 「考古博物館の日」のイベント	
(4) 縄文王国山梨イベント	
(5) こうこはく de タッチ&トーク	
(6) 「夏休み自由研究プロジェクト」への参加	
(7) 夏休みフリーパスポートに関するイベント	
(8) 2010風土記の丘・菅根丘陵公園 秋のふれあい祭り	
4 学芸員実習・職場体験・インターンシップ	4
5 古代衣装貸し出し	5
6 ボランティアガイドの実施	
◇ 考古博物館利用状況	
(1) 総入館者数	6
(2) 特別展入館者数	7
(3) 学校関係利用状況	8
◇ 平成22年度 考古博物館予定事業について	
1 展示活動	9
2 学習会・講座など	
3 イベント	
◇ 平成23年度考古博物館特別展予定について	10
◇ その他	11
◇ 山梨県考古博物館協議会委員名簿	12
◇ 山梨県附属機関の設置に関する条例等（抜粋）	13

◇ 平成22年度考古博物館経過事業について

1 展示活動

(1) 第28回特別展

テーマ：『発掘された女性の系譜～女性・子ども・家族の造形～』

入館者 2, 278人 (10月末現在)

会 期：平成22年10月9日(土)～11月28日(日) 51日間(休館日なし)

会 場：山梨県立考古博物館

概 要：近年、母子福祉や子育て支援など女性や母性が着目された取り組みがなされており、この流れに呼応した女性や家族をテーマとした展示とした。

遺跡の発掘においては、縄文時代の土偶や子供の足形・手形、弥生時代の土偶形容器、古墳時代の埴輪など、女性や家族にかかわる出土品が数多く見られる。

本展では、東北から関東にかけての国指定重要文化財などを多数集め、こうした造形をとおして、縄文時代の現代と変わらない子供への愛、弥生時代に見られる夫婦や男女のあり方、古墳時代の王と巫女の関係など、太古に生きた「ひと」の姿を広く知ってもらう機会とする。

(2) 企画展

① 春季企画展『古代のアクセサリー』 入館者 7, 059人

会 期：4月24日(土)～6月27日(日) 開催日数57日

会 場：考古博物館特別展示室

概 要：縄文時代から古墳時代にかけての石製や金属製のペンダントや耳飾りについて、県内出土品を展示する。古代アクセサリーは、魔除けや呪術を身につけるため、もしくは役職を表すために使用されたとされる。今回の企画展では、近年の発掘調査で増加する装身具を一同に集め、使用目的や用途に沿ってその意味を紹介した。

② 夏季企画展『縄文時代の大型土器』 入館者 4, 192人

会 期：7月17日(土)～9月5日(日) 開催日数45日

会 場：考古博物館特別展示室

概 要：山梨県は縄文時代遺跡の宝庫であり、今から5～6, 000年前の縄文時代前・中期の土器は、特に大型品が多いことが注目されている。土器は、煮炊き用の調理具とされ、その大きさは食料が豊富であったことや自然からの恵みの豊かさを示すものと思われる。実際に、圧倒される土器の大きさを体感し、縄文時代の生活の豊かさを実感していただく機会とした。

③ 『山梨の遺跡展2010』 入館者 1, 245人

会 期：3月13日(土)～4月12日(月) 開催日数27日

会 場：考古博物館特別展示室

共 催：山梨県埋蔵文化財センター

概 要：平成21年度に、山梨県埋蔵文化財センターが発掘調査した遺跡や市町村教委が調査し話題となった遺跡の出土品や写真パネルで速報展示した。

④ 『新指定文化財展』 入館者 7, 150人

会 期：6月17日(木)～9月30日(木) 開催日数92日

会 場：考古博物館エントランスホール

概 要：平成22年3月に山梨県指定有形文化財(考古資料)に新たに指定された当館所蔵の「甲府城跡出土飾瓦(151点)」の内7点を速報展示した。

2 学習会・講座など

(1) 講演会

特別展に関連した話題で、最先端の研究者を講師として招いて講演会を開催した。

事前講座 9月5日(日)
『発掘された女性の系譜～女性・子ども・家族の造形～』 受講者 33人
当館学芸員 石神孝子

特別講演第1回 10月10日(日) 『縄文土器にみる母子の神話像』 受講者 43人
井戸尻考古館館長 小林 公明氏

(2) 史跡文化財セミナー

一般成人を対象として、山梨県内の史跡を巡り、郷土の歴史や文化に対する興味・関心、理解を深めてもらった。

第44回 4月29日(日) 『久遠寺と門前町「身延」』 参加者 32人

第45回 6月13日(日) 『能見城防塁と新府城』 参加者 29人

第46回 8月1日(日) 『富士山信仰と浅間神社』 参加者 28人

第47回 10月24日(日) 『米倉山と周辺の古墳群』 参加者 28人

(3) 考古学講座「女性研究者が語る考古学最前線」

第1回 6月6日(日)
『縄文時代の女性たち～釈迦堂遺跡出土遺物から～』 受講者 48人
釈迦堂博物館学芸員 秋山圭子氏

第2回 6月27日(日)
『甲斐黄金村ものがたり～湯之奥金山遺跡の発掘調査と博物館活動～』 受講者 36人
湯之奥金山博物館学芸員 小松美鈴氏

第3回 7月18日(日)
『鏡よ鏡～その輝きに魅せられたわたしたち～』 受講者 36人
当館 雨宮加代子氏

第4回 8月8日(日) 『女性の考古学よもやま話』 受講者 44人
山梨県埋蔵文化財センター主任文化財主事 野代恵子氏

(4) チャレンジ博物館(風土記の丘研修センター)

小中学生を対象に、学校の休業日である土曜日を利用し、体験学習会を開催。考古学を学ぶ楽しさやものを作り出すよろこびを経験できる企画。

第1回 5月16日(日) 『弥生時代の矢じりをつくろう』 参加者 13人

第2回 6月20日(日) 『縄文時代のアクセサリーをつくろう』 参加者 22人

第3回 7月18日(日)・24日(土)・25日(日)・8月8日(日)
『縄文土器をつくろう』 参加者 90人
(延べ人数)

第4回 8月22日(日) 『縄文時代のかごをつくろう』 参加者 15人

第5回 10月24日(日) 『縄文人のごちそうどんぐりを味わってみよう』

第6回 10月31日(日) 『弥生時代の稲刈りに挑戦しよう』 参加者 15人
参加者 6人

(5) ものづくり教室～原始古代の技に学ぶ～(風土記の丘研修センター)

第1回 4月17日(土) 『第1回勾玉とガラス小玉作り』 参加者 4人
第2回 4月24日(土) 『第1回トンボ玉作り』 参加者 3人
第3回 5月15・23日(土) 『第1回青銅鏡作り』 参加者 12人
第4回 6月26日(土) 『第2回トンボ玉作り』 参加者 6人
第5回 7月10日(土) 『第2回勾玉とガラス小玉作り』 参加者 14人
第6回 8月28日(土) 『第1回草木染め』 参加者 15人
第7回 9月18・26日(土) 『青銅器作り』 参加者 10人
第8回 10月16日(土) 『煉香作り』 参加者 8人
第9回 10月30日(土) 『第3回トンボ玉作り』 参加者 4人

(6) 縄文土器づくり教室(風土記の丘研修センター)

第1回目 5月29日(土)・6月5日(土)・19日(土) 参加者 18人

(7) 原始・古代の技術体験学習(風土記の丘研修センター事業; 常時対応)
(10月末現在)

① 勾玉作り 参加者 2, 296人
② 火起こし体験 参加者 5, 162人
③ 青銅鏡 参加者 11人
④ 土鈴 参加者 16人

3 イベント

(1) 第22回風土記の丘こどもまつり 参加者 延4, 692人
5月2日(日)・3日(月) 風土記の丘研修センター内と前庭など
勾玉作り、トンボ玉作り、火起こし体験、古代食試食、ペーパークラフト、狩猟体験や古代ダンスショー、史跡ウォークラリーなど考古学や風土記の丘に親しんでいただく催しものを5月の連休期間中に毎年開催。

(2) 特別展関連イベント

特別展開催期間中に、イベントを開催。
10月31日(日)「古代衣装を着よう」 参加者 16人
11月 3日(水)「ドングリクッキーイベント」 参加者 56人

(3) 「考古博物館の日」のイベント

第4土曜日を「考古博物館の日」と銘打ちエントランスホールでミニイベントを実施。

4月24日「古代のアクセサリーをつけよう」 参加者 13人
5月29日「古代のアクセサリーをつけよう」 参加者 30人
6月26日「縄文ぬりえ」 参加者 7人

9月25日「特別展事前ぬりえ」 参加者 7人
10月30日「古代衣装を着よう」 参加者 17人

(4) 縄文王国山梨イベント

考古博物館と谷戸城ふるさと歴史館、北杜市埋蔵文化財センター、韮崎市民俗資料館、南アルプス市ふるさと文化伝承館、県立博物館、釈迦堂遺跡博物館、富士吉田市歴史民俗博物館が連携して実行委員会を構成して、巡回イベントやスタンプラリーなど、共同開催イベントを実施。

① 巡回イベント

7月25日(日) 韮崎市民俗資料館 参加者 56人
縄文服試着、弓矢体験、磨石・黒曜石体験、火起こし、どんぐりクッキー、土偶づくり、縄文染め、縄文クイズコーナー

5月29日(土) 南アルプス市ふるさと伝承館 参加者 66人
縄文服試着、弓矢体験、磨石・黒曜石体験、火起こし、土偶づくり、塗り絵・パズル・拓本カードづくり、伝承館ツアー

② スタンプラリー

開催館すべてに入館し、備え付けのスタンプを集めて応募すると、オリジナル・スタンプセットかミニチュア土器が合計50名に当たる。4館目でオリジナルシオリなどのプレゼントがある。

7月17日(土)～12月26日(日)

(5) こうこはくdeタッチ&トーク

出土品を手にとりながら、学芸員の解説を聞くイベント。今回は、収蔵庫を見学するバックヤードツアーや拓本体験、縄文土器観察会を同時開催。

第1回8月7日(日) 参加者 13人

(6) 「夏休み自由研究プロジェクト」への参加

県立博物館の呼びかけによる事業への参加。考古博では粘土片にモデルとして用意した土器片と同じ文様を施す作業を体験するコーナーを出店。

7月19日(月) アイメッセ山梨(甲府市) 参加者 79人

(7) 夏休みフリーパスポートに関するイベント

パスポートでの入館者で希望者に縄文土器の拓本体験とトンボ玉作りを実施。

- | | |
|--------------------|----------|
| ① 『土器の拓本カードをつくろう!』 | 参加者 394人 |
| ② 『トンボ玉をつくろう!』 | 参加者 90人 |
| ③ 『古代の火おこし!』 | 参加者 32人 |
| ④ 『勾玉をつくろう!』 | 参加者 411人 |
| ⑤ 『青銅鏡をつくろう!』 | 参加者 17人 |

(8) 2010風土記の丘・曾根丘陵公園 秋のふれあい祭り

曾根丘陵公園指定管理者(富士観光開発・富士グリーンテックグループ)との共催事業。勾玉作り、古代火起こし体験、拓本体験、ディスクドッグショー、ヴァン君と記念撮影、屋台村(軽食コーナー)など

参加者 1,240人

4 学芸員実習・職場体験・インターンシップ

高校・大学生等の就職先選定に先立つ職場実習であるインターンシップ、主に中学生による職場体験、大学生の学芸員資格取得のための学芸員実習を受け入れている。

職場体験 中学校7校 17人

インターンシップ 高校2校 7人、大学1校1人
学芸員実習 0人

5 古代衣装貸し出し

弥生～古墳時代の貫頭衣、古墳時代の豪族の衣服である胡服や巫女の服、古墳～奈良時代の女官や官吏の服を貸し出し、学校教育やイベントに活用する。

- ・ 県内 小学校 4校、高校 1校、支援学校 1校、博物館 1館
- ・ 県外 高校 2校、大学 1校、その他(イベント 2ヶ所)

6 ボランティアガイドの実施

考古博物館協力員に研修をうけていただき、ボランティアガイドとして来館者の展示解説を実施。現状5名。

- 4月－ 9日間(延べ12名；開館日数29日)
- 5月－ 16日間(延べ19名；開館日数26日)
- 6月－ 15日間(延べ17名；開館日数26日)
- 7月－ 12日間(延べ13名；開館日数27日)
- 8月－ 10日間(延べ11名；開館日数27日)
- 9月－ 12日間(延べ12名；開館日数26日)
- 10月－ 11日間(延べ13名；開館日数23日)

◇ 考古博利用状況

次の3項目について、次ページ以降をご覧ください。

- (1) 総入館者数
- (2) 特別展入館者数
- (3) 学校関係利用状況

総入館者数（常設展・特別展）

平成22年10月末日現在（単位：人）

年度	開館 日数	高 校 展										特別展	合計 (常設展別)	果 計		
		個人		団体		割引(小・高、大学・一般、小・中・高、大学・一般)		旅行社・ツアー・ポイント		年間入 場者	土曜日				教育課程 招待者	計
大学・一般	小・中・高	大学・一般	小・中・高	大学・一般	小・中・高	大学・一般	小・中・高	大学・一般	小・中・高			大学・一般	小・中・高	大学・一般		
57	115	12,017	3,412	6,885	528							4,130	3,705	30,687	30,687	30,687
58	295	16,957	6,423	10,948	1,742							8,744	3,981	48,795	8,395	57,190
59	296	14,282	4,968	6,329	3,276							9,327	2,540	40,722	5,238	45,961
60	298	12,879	4,431	5,209	3,116							7,533	2,660	35,628	4,015	39,643
61	302	14,667	4,154	4,370	3,651							7,471	3,793	38,106	10,014	48,120
62	298	16,066	4,588	4,760	1,951							8,957	2,558	38,880	3,517	42,397
63	298	15,922	4,522	3,014	4,667							7,619	3,916	39,554	5,123	44,677
1	299	16,349	4,813	5,059	6,332							7,147	2,982	42,682	5,825	48,507
2	301	17,777	5,123	4,681	6,700							10,504	2,807	47,602	6,597	54,199
3	300	15,775	4,422	4,538	7,541							8,975	3,684	44,935	5,789	50,724
4	296	14,329	3,788	4,215	8,048							6,307	3,610	40,795	6,174	46,969
5	299	13,272	3,865	3,636	8,211							8,184	3,482	40,840	4,591	45,431
6	294	11,759	3,153	1,764	7,216					48		7,388	3,708	36,036	6,296	42,332
7	291	12,519	2,749	1,548	5,076					11,230	4,422	6,845	3,573	47,982	90,082	138,064
8	293	9,079	2,055	1,426	6,089					3,455	1,028	4,908	2,910	39,950	16,483	56,433
9	291	7,470	1,795	1,073	5,594					2,633	443	4,125	2,442	25,575	5,195	30,770
10	290	7,057	1,566	556	6,410					3,596	446	4,166	2,283	25,080	13,165	38,245
11	288	6,283	1,705	521	4,208					2,338	332	4,409	1,839	21,636	6,812	28,448
12	288	5,616	1,459	797	2,958					3,201	267	3,919	1,877	20,094	9,227	29,321
13	292	5,717	1,580	800	2,271					2,517	250	3,683	1,181	17,989	6,036	24,024
14	299	5,423	1,398	396	2,598					2,670	569	3,397	1,428	17,879	6,373	24,252
15	290	4,454	1,312	479	2,379					2,887	571	3,465	1,065	16,602	6,127	24,729
16	298	4,377	1,141	557	1,822					2,397	331	3,519	1,202	15,346	5,064	20,410
17	296	4,432	1,105	307	2,874					3,265	440	3,093	1,039	16,556	5,154	21,709
18	300	4,876	1,222	326	3,543	32	5			2,844	537	3,145	1,863	18,428	4,613	23,041
19	301	17,512	7,004	346	3,482	287	30	38	78	606	11,546	3,139	4,747	2,070	50,987	51,241
20	298	4,648	2,187	229	4,276	1,098	158	17	63	261	2,944	3,819	2,268	22,493	6,549	29,042
21	290	4,537	2,524	212	3,354	938	69	14	43	271	3,049	3,553	2,429	21,847	5,058	26,905
計	183	2,859	1,687	1,279	4,127	366	4	1	169	1,906	1,820	2,540	1,954	16,287	2,278	18,565
計	8,249	238,500	80,141	75,270	123,548	2,720	305	147	184	1,344	62,427	166,543	74,569	909,672	314,881	1,224,553

特別展入館者数

平成22年10月末日現在 (単位:人)

年度	開館日数	個人 大学・一般小・中・高	団体 大学・一般小・中・高	特別制度(知事・県・市・区)	初売券	旅行社 クーポン	年間パス ポート	高齢者 身障者	土曜日	教育課程	招待者	計	1日 平均	内 容
58	46	2,807	723	1,405	215					1,800	1,445	8,385	183	1 土橋
59	35	1,840	308	926	26					1,194	945	6,239	150	2 縄文時代の酒道具
60	37	1,362	161	832	36					785	839	4,015	109	3 山梨の中世銅器
61	56	3,232	520	1,065	6					2,565	2,604	10,014	179	4 古代甲斐国と豊内王権
62	29	1,461	274	317	28					571	866	3,617	121	5 古代官道と甲斐の文化
63	28	1,824	242	359	24					1,008	1,565	5,123	183	6 古代の装身具
1	31	1,098	264	616	315					2,522	809	5,625	181	7 一粒の朝顔
2	36	1,503	242	448	81					3,549	774	6,587	183	8 古墳時代が聞こえる
3	36	1,100	199	250	3					3,318	819	5,789	161	9 縄文土器その心象世界
4	38	2,263	344	414	115					1,903	1,135	6,174	172	10 天下人の時代
5	35	840	101	231						2,446	973	4,591	131	11 山梨の縄巻
6	36	2,414	534	96						1,947	1,295	6,286	175	12 古墳時代の甲冑
7	44	55,823	9,554	1,943	576			10,045	3,766	4,273	4,303	90,002	2,047	13 黄金の都シカノ祭礼展
8	32	7,999	1,432	259	219			982	608	2,140	420	14,059	439	- ネアンデルタール人の復活展
9	19	1,268	178	92				563	126		2,178	4,424	238	14 新発見考古学展
10	44	5,173	883	151	458			587	62	737	1,770	5,195	157	15 韓国・中韓北道の古代文化展
11	39	1,985	384	166	457			1,711	208	1,948	2,633	13,165	299	16 遙かなるエジプト展
12	39	2,642	383	178	173			611	87	1,634	1,478	6,812	175	17 縄文の旅
13	44	1,555	309	205	206			1,548	94	1,126	2,882	9,227	237	18 中国四川省古代文物展
14	38	1,984	448	274	99			721	92	1,913	1,035	6,035	137	19 黄金の輝き
15	38	1,965	333	126				737	142	1,423	1,375	6,373	166	20 技と美の匠芸
16	46	1,052	116	286	14			1,257	145	2,227	2,274	8,127	214	21 大トルコ展
17	58	842	167	206	234			615	81	1,745	1,156	5,064	110	22 縄文の女神展
18	51	993	191	115	42			828	109	1,805	883	5,154	89	23 山の民と海の民
19	52	12,958	2,908	498	355		20	802	83	1,546	812	4,613	90	24 甲府盆地から見たヤマト
20	55	647	428	184	68		506	9,468	2,507	2,035	729	51,241	985	25 世界遺産ナスカ屋
21	51	605	420	39	361		126	874	90	1,828	905	6,549	119	26 埋められた財宝
22	29	115	136	10	390		116	657	58	748	1,128	5,068	99	27 卑弥呼時代の黄泉世界
23	29	115	136	10	390		4	347	26	391	418	2,276	99	28 発掘された女性の乗馬

※平成22年度特別展の開館日数は51日

学校関係利用状況

平成22年10月末日現在 (単位：校、人)

年度	県内										県外					合計		
	小学校		中学校		高校		計		小学校		中学校		高校		計			
	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数
4	88	6,303	4	494	1	10	93	6,907	67	5,589	17	1,708	11	538	95	7,815	188	14,622
5	89	6,450	11	1,352	2	362	102	8,164	68	5,716	15	1,461	11	578	94	7,755	196	15,919
6	88	6,306	11	763	4	319	104	7,388	69	5,537	7	759	11	714	87	7,010	191	14,398
7	93	5,814	15	683	7	343	115	6,845	53	3,999	12	1,077	2	173	67	5,249	182	12,094
8	67	4,353	12	515	2	40	81	4,908	62	4,384	12	1,062	2	122	76	5,568	157	10,476
9	53	3,437	10	474	5	214	68	4,125	67	4,524	12	1,118	1	56	80	5,698	148	9,823
10	61	3,723	9	397	1	46	71	4,166	46	3,213	12	1,316	4	855	62	5,384	133	9,550
11	60	3,723	11	577	4	109	75	4,409	45	3,109	9	907	1	120	55	4,136	130	8,545
12	57	2,987	15	650	0	273	81	3,919	38	2,387	5	465			43	2,852	124	6,771
13	58	2,059	19	285	3	339	80	3,683	26	1,681	7	540			33	2,221	113	5,904
14	52	2,781	15	457	5	159	72	3,397	33	1,934	7	628			40	2,562	112	5,959
15	68	3,143	8	234	3	88	79	3,465	31	1,676	8	635	1	81	40	2,394	119	5,859
16	56	2,980	13	323	4	216	73	3,519	25	1,551	2	140	1	29	28	1,720	101	5,239
17	51	2,797	15	275	1	21	67	3,093	32	2,325	5	345	2	69	39	2,739	100	5,632
18	54	2,976	9	162	1	7	64	3,145	37	2,819	10	595			47	3,413	111	6,558
19	80	3,704	22	937	5	106	108	4,747	44	3,149	5	474			49	3,623	157	8,370
20	66	3,341	12	402	1	176	79	3,919	46	3,335	12	898			58	4,233	137	8,152
21	65	2,950	16	539	5	64	86	3,553	42	2,947	11	919	1	45	54	3,911	140	7,464
22	43	2,268	10	541	3	81	56	2,890	48	3,270	12	1,013			60	4,343	116	7,233
計	1,250	73,095	237	10,069	67	2,978	1,554	86,142	879	63,126	180	16,120	48	3,380	1,107	82,626	2,661	168,768

◇ 平成22年度考古博物館予定事業について

1 展示活動

(1) 企画展

- ① 『甲府市内の出土品Ⅲ～古代の道、中道からの眺め～』
会期：12月11日(土)～1月30日(日)
会場：考古博物館特別展示室
- ② 『新年干支展』
会期：1月2日(日)～1月30日(日)
会場：考古博物館エントランスホール
- ③ 第8回『わたしたちの研究室』
会期：2月8日(火)～3月6日(日)
会場：考古博物館特別展示室
- ④ 風土記の丘望見展
会期：2月1日(土)～3月22日(日)
会場：風土記の丘研修センターエントランスホール
- ⑤ 『山梨の遺跡展2011』
会期：3月12日(土)～4月10日(日)
会場：考古博物館特別展示室
共催：山梨県埋蔵文化財センター

2 学習会・講座など

(1) 講演会

特別講演第2回 11月 7日(日)『装身具からみた古墳時代の女性像』
奈良芸術短期大学 講師 玉城 一枝 氏

特別講演第3回 11月21日(日)『縄文人のお産』
山梨県埋蔵文化財センター 所長 小野 正文 氏

(2) チャレンジ博物館

- | | | |
|------|-----------|-----------------|
| 第7回 | 11月14日(日) | 『ユニークな土偶をつくろう』 |
| 第8回 | 12月12日(日) | 『古代の青銅鏡をつくろうA』 |
| 第9回 | 12月19日(日) | 『古代の青銅鏡をつくろうB』 |
| 第10回 | 1月 9日(日) | 『干支の土鈴をつくろう』 |
| 第11回 | 2月13日(日) | 『縄文時代の布を纏ってみよう』 |

(3) ものづくり教室～原始古代の技に学ぶ～

- | | | |
|------|------------------|---------------|
| 第10回 | 11月6・20日(土) | 『重要文化財の土偶を作る』 |
| 第11回 | 12月11・18日(土) | 『古代貨幣をつくる』 |
| 第12回 | 12月25日(土) | 『第2回草木染め』 |
| 第13回 | 1月22・29・30日(土・日) | 『草木染めと原始機織り』 |
| 第14回 | 3月5・13日(土) | 『第3回青銅鏡作り』 |

(4) 縄文土器づくり教室(風土記の丘研修センター)

第2回目 2月5・12・26日(土)

3 イベント

- (1) 県民の日イベント(11月20日)
 - ①「国指定史跡鮎子塚古墳・丸山塚古墳を巡る」
ウォークラリークイズに答えてプレゼントをゲット
 - ②「ひらけ！玉手箱」
山梨県埋蔵文化財センターとの共催事業。甲府城跡（舞鶴城公園）で18のアトラクション
- (2) 古代のもちつき
1月2日(日)・3日(月)
- (3) 「考古博物館の日」のイベント
11月27日「古代衣装を着よう」
2月26日「考古博冬まつり」
- (4) わたしたちの研究室表彰式・発表会
2月6日(日)
- (5) こうこはくdeタッチ&トーク
第2回 1月22日(日)
- (6) 縄文王国山梨イベント
巡回イベント
1月29日(土) 釈迦堂遺跡博物館

◇ 平成23年度 考古博物館特別展予定について

第29回特別展

テーマ：『縄文土器名宝展～縄文芸術の到達点～』（仮題）

会期：平成23年10月1日(土)～11月20日(日) 51日間(休館日なし)

会場：山梨県立考古博物館

概要：

山梨県は1900ヶ所もの縄文時代遺跡が知られ、縄文文化が最も栄えた地域の一つである。縄文土器文化は、特に中期(5,000年前)に隆盛期を迎え、縄文芸術の到達点というべき絢爛豪華な文様で飾られた土器が豊富にある。

山梨県の縄文土器文化は、特に装飾性が豊かなことで知られ、他地域にはない独自性がある。中期には、山梨・長野の水煙文土器、新潟の火炎土器など、各地に独特の土器文化がある。東北南部、関東、中部にかけての縄文時代中期の国指定重要文化財を中心に資料を集め、こうした東日本各地の土器文化を相互に比較することで、山梨の縄文文化に独創性と卓越性があることを、より広く理解していただく機会としたい。

平成22年度行政評価(外部評価)について

平成22年9月11日(土)、山梨県行政評価アドバイザー会議(山梨版事業仕分け)が開催され、考古博物館の運営に関して、3名のアドバイザーから次のとおり評価を受けました。
今後、これらの評価を踏まえて県が最終の評価を行い、11月中に結果が公表される予定です。

行政評価アドバイザー	評価区分	説明
日高 昭夫 氏 (山梨学院大学法学部長)	現行どおり	現行どおり継続とする。 ただし、考古博物館だけでなく周辺の古墳群・曾根丘陵公園などの一体となった区域の魅力について、関係部局と連携し、更なるPRに努める必要がある。また、古代史教育の拠点としてこれまで以上に博学連携に努め、特に小学校については県内全小学校が常設展の観覧や体験実習に参加するよう計画的な働きかけを行うべきである。
土橋 康二 氏 (元山梨中央銀行取締役、 元甲府市代表監査委員)	要改善	博物館との運営の連携により管理コストの削減を検討したらどうか。 また、曾根丘陵公園との一体的活用を図ったらどうか。
田中 佑幸 氏 (公認会計士)	要改善	曾根丘陵公園は銚子塚や丸山塚などの古墳を配しているという特徴を有し、比較的多くの利用者実績がある。 その中に位置する考古博物館は、県直営で運営されているが、都市公園である曾根丘陵公園は、民間会社に指定管理者制度のもと委託されている。 考古博物館自体の入場者は多いとは言えず、今後は、公園の管理者と協力して、公園と一体となった各種イベントの開催など集客方法に一層のアイデアを出す必要がある。

山梨県考古博物館協議会委員名簿

(任期 平成二十二年十月二十三日、平成二十四年十月二十二日)

区分	役職等	氏名	出身分野 (勤務先等)
委嘱	山梨県公民館連絡協議会会長	堀内邦満	社会教育関係 (山梨市教育委員会教育長)
委嘱	山梨県市町村教育委員会連合会	曾根眞由美	社会教育関係 (昭和町教育委員会委員長)
委嘱	山梨県PTA協議会副会長	三井久美子	家庭教育関係
委嘱	甲府市男女共同参画 推進委員会委員長	小川はるみ	学識経験者
委嘱	国立大学法人山梨大学准教授	大隅清陽	学識経験者
委嘱	山梨県立考古博物館協力会会長	椎名慎太郎	学識経験者
委嘱	山梨県考古学協会会長	谷口一夫	学識経験者
委嘱	山梨郷土研究会理事	齊藤淳子	学識経験者
委嘱	NHK甲府放送局局長	鈴木郁子	学識経験者
委嘱	主婦 (山梨県女性団体連絡協議会理事)	廣瀬はるみ	公募
任命	山梨県公立小中学校校長会	丹澤恵美子	学校教育関係 (市川三郷町立大塚小学校校長)
任命	山梨県高等学校校長協会	八巻良一	学校教育関係 (県立甲府西高等学校校長)
任命	山梨県小中学校社会科研究会会長	奥水均	学校教育関係 (甲府市立北西中学校校長)
任命	山梨県高等学校教育研究会 地理歴史公民科部会長	深沢信吾	学校教育関係 (県立桂高等学校校長)

(平成二十二年十月現在)

山梨県附属機関の設置に関する条例(抜粋)

(趣旨)

第1条 この条例は、法令又は他の条例に別に定めのあるものを除くほか、地方自治法第138条の4第3項に規定する附属機関に関し、必要な事項を定めるものとする。

(附属機関の設置及び担当事務)

第2条

2 教育委員会の附属機関として、次に掲げる機関を設置する。

(略)

山梨県立美術館協議会

山梨県考古博物館協議会

山梨県地方産業教育審議会

山梨県文学館協議会

3 第2項の規定により設置される附属機関の担任する事務は、別表第1の担任事務欄の掲げるとおりとする。

(組織)

第4条 附属機関は、別表第1、別表第2及び別表第3の委員の定数欄に掲げる数の委員で組織する。

2 委員は、別表第1、別表第2及び別表第3の委員要件欄に掲げる者のうちから、知事(教育委員会の附属機関にあっては、教育委員会。以下同じ。)が任命し、又は委嘱する。

3 委員の任期は、別表第1、別表第2及び別表第3の委員の任期欄に掲げるとおりとする。

(会長等)

第5条 附属機関に、規則で定めるところにより、会長又は委員長(以下「会長」と総称する。)及び副会長又は副委員長(以下「副会長」と総称する。)を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選によりこれを定める。

3 会長は、会務を総理し、附属機関を代表する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

5 副会長が置かれていない附属機関にあっては、会長に事故あるときは、あらかじめ会長の指名する委員が、その職務を代理する。

(会議)

第6条 附属機関の会議は、会長が招集し、会長が議長となる。

2 会議は、規則で定める場合を除くほか、委員の2分の1以上が出席しなければ、開くことができない。

3 会議の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(委任)

第8条 この条例に定めるもののほか、附属機関の担任事務、組織及び運営等に関し必要な事項は、規則で定める。

別表第1(第2条、第4条関係)

2 教育委員会の附属機関

附属機関	山梨県考古博物館協議会
担任事務	博物館法第20条第2項の規定による山梨県立考古博物館の運営に関する事項の調査審議及び意見の具申に関する事務
委員の定数	15人以内
委員の要件	1 学校教育の関係者 2 社会教育の関係者 3 家庭教育の向上に資する活動を行う者 4 学識経験のある者
委員の任期	2年

山梨県附属機関の設置に関する条例施行規則(抜粋)

(趣旨)

第1条 この規則は、山梨県附属機関の設置に関する条例の施行に関し、必要な事項を定めるものとする。

(補欠委員の任期)

第2条 委員に欠員を生じた場合における補欠の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長及び副会長)

第4条 条例第5条第1項の規定により、附属機関に会長を置く。

(庶務)

第12条 附属機関の庶務は、別に定めるところにより、処理する。

(委任)

第13条 この規則に定めるもののほか、附属機関の組織及び運営に関し必要な事項は、会長が当該附属機関に諮って定める。

※ 参考

博物館法(抜粋)

(博物館協議会)

第20条 公立博物館に博物館協議会を置くことができる。

2. 博物館協議会は、博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関とする。

第21条 博物館協議会の委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から、当該博物館を設置する地方公共団体の教育委員会が任命する。